

## 絵本からはじめる男女共同参画

子どもたちがエンパワーメントし、自分らしく生きることを大切に育ってほしい。いま大切にしたいこと、これから大切にしなければならぬことを、絵本で子どもたちに伝えてみませんか。大人の方にもおすすめの絵本です。

※書籍右横の番号はセンターでの検索番号です。



世界じゅうの女の子のための日  
国際ガールズ・デーの本

2021年 大月書店

ジェシカ・ハンフリーズ、ロナ・アン  
ブローズ(文)、シモーネ・シン(絵)、  
国際 NGO プラン・インターナショナル  
(訳・解説)

[400-3]

2011年、ニューヨークの国連本部に招かれた世界各国の女の子たちが、女の子だからという理由だけで奪われている「学ぶ権利」や、「児童婚」などの実態を世界のリーダーたちに訴えました。リーダーたちは女の子たちが直面している様々な問題解決のための記念日「国際ガールズ・デー」を作る約束をしました。毎年10月11日がその日です。さあ、ジェンダー平等の大切さを世界中でもっと語り合い、女の子たちを取り巻く環境の改善を目指しましょう。本書に描かれた女の子たちが、希望への道を案内してくれますよ。(みっと)



あぶないときは  
いやです、だめです、いきません  
子どもの身をまもるための本

2022年 岩崎書店

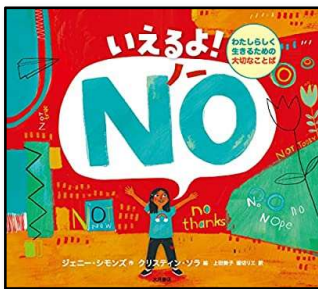
清永 奈穂(文)、  
石塚 ワカメ(絵)

[2000]

「あぶないひとつってどんなひとつ?」「どんなところからねらってくるの?」。

本書は子どもと一緒に読み進めながら安全について学べる絵本です。きっぱりと「断る力」は大人になっても有効です。子どもが自力で安全を守るために「安全基礎体力」をつけていきましょう。

世の中には、助けてくれる大人もたくさんいること、あなた自身が「だいじ」であること、危ない目にあったときは話してほしいことなど、絵本を通じて親から子どもに伝えたいことが伝えられます。(ぼっと)



いえるよ! **NO**  
わたしらしく生きるための  
大切なことば

2022年 大月書店

ジェニー・シモンズ(文)、  
クリスティン・ソラ(絵)、  
上田 勢子、堀切 リエ(訳)

[2000]

本当は気が進まないのに「いいよ」と言ってしまったこと、ありますよね? 「嫌われたくない」「期待に応えたい」という思いで、本当の気持ちに蓋をする。これは日常の、よくあることかもしれません。でも、大切にされなかった自分の心は傷つきます。

無理して相手に合わせなくていい。本当の気持ちを大切にしてい。自分も相手も尊重する、爽やかな自己主張を目指して「**NO**」と試してみませんか?

子どもにわかりやすく、大人の心にも響きます。ぜひ巻末のメッセージも読んでください。(こなつ)



にじいろのペンダント  
国籍のないわたしたちのはなし

2022年 大月書店

陳 天璽、由美村 嬉々(作)、  
なかい かおり(絵)、  
無国籍ネットワークユース(協力)

[2000]

「子どもたちに、無国籍について知ってもらえる絵本ができた」という思いから生まれた絵本。

主人公ララは著者がモデル。祖父のいる台湾に家族で行ったときは自分ひとりだけ入国できず、日本に帰ると今度は、日本にも入国できない。様々な壁にぶつかり落ち込んだララにお母さんが言いました。「人は、みんなペンダントをつけているのよ。経験や出会った人たちとの繋がりを大切にしていくとペンダントは輝くの」。優しいタッチの絵は、お母さんの優しさのよう。自分のペンダントを虹色に輝かせてね。(ルナ)